

15th

ANNIVERSARY

ORINASU YAME

おりなす八女15周年記念事業

オーケストラ・サウンドで彩る優美で華麗なモーツァルトの世界

おりなす室内管弦楽団

Orinasu chamber orchestra



出演

(指揮者) 大山平一郎

(ピアノ独奏) 酒井有彩

オーケストラメンバー

(ヴァイオリン) 北川千紗 花岡桜 新井沙彩 谷本沙綾 黒葛原康子 加来洋子 緒方愛子

(ヴィオラ) 松隈聡子 小倉由衣 江頭摩耶

(チェロ) 長谷川弘樹 岡田紗季 木村郁

(コントラバス) 伊藤珠理 武富祐子

(フルート) 松本優哉

(オーボエ) 若木麻有 徳山奈美

(ファゴット) 浦野さやか 國頭彩

(ホルン) 岡本秀樹 吉田雄大

(トランペット) 古賀敦子 井手口博文

(ティンパニ) 山ヶ城陽子

プログラム

モーツァルト：ディヴェルティメント 第3番 へ長調 K.138

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467 (使用ピアノ：ベーゼンドルファー280)

モーツァルト：交響曲 第41番 ハ長調 K.551 『ジュピター』

2026.6/7日 開演 15:00(開場14:15)

八女市民会館 おりなす八女 ハーモニーホール

チケット

【全席自由】一般:2,000円 友の会:1,500円 高校生以下無料(要入場整理券)

※未就学児は入場できません

プレイガイド

おりなす八女(窓口)

発売日

4/25(土)

主催：NPO法人おりなす八女文化事業振興会・八女市

Profile



大山 平一郎 (指揮) Heiichiro Oyama

英国のギルドホール音楽学校を卒業。1979年にロサンゼルス交響楽団の首席ヴィオラ奏者に任命された後、同楽団の副指揮者に任命される。

カリフォルニア大学教授、ラホイヤ・サマーフェスト、サンタフェ室内音楽祭、九州交響楽団の常任指揮者、大阪交響楽団の音楽顧問・首席指揮者等を歴任。福岡市文化賞、文部科学大臣賞(芸術祭優秀賞)を受賞。MusicDialogue代表理事・芸術監督。CHANELピグマリオンデイズ室内楽シリーズ芸術監督。ロベロ劇場室内楽プロジェクト芸術音楽監督(米国Santa Barbara)



酒井有彩 (ピアノ) Arisa Sakai

文化庁新進芸術家在外研修員として渡欧。ベルリン芸術大学を最優秀で卒業。ドイツ国家演奏家資格を取得。幼少よりピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会、全日本学生音楽コンクールをはじめ、マルサラ市国際コンクール第2位、ジュネーブ国際コンクールセミファイナリスト、レオポルド・ベラン国際コンクール第1位など国内外にて多数入賞。東京フィル、東響、新日本フィル、群馬響、大フィル、大阪響、関西フィル、日本センチュリー響、モディリアーニ弦楽四重奏団等と共演。2021年に大阪響(指揮:横山奏)とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を共演、「音楽の友」誌にて「優しさと厳しさが入り混じった世界を巧みに描き出した」と絶賛された。NHK Eテレ「クラシック音楽館」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、「家庭画報」誌等、メディアにも掲載される。

CHANEL Pygmalion Days アーティスト。Music Dialogue アーティスト。地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。近年はイタリア・パレルモ音楽祭に招聘されるなど、国内外で精力的に活動している。2019年「ラヴェル ピアノ協奏曲」(レコード芸術誌特選盤)で鮮烈なデビューを果たし、2023年にはソロアルバム「憧憬/Sehnsucht nach Leipzig」、2024年にはデュオアルバム「歌う旅路/Voyage lyrique à deux」をリリース。

Program

モーツァルト:ディヴェルティメント 第3番 ヘ長調 K.138

ディヴェルティメント(喜遊曲)とは貴族の食卓や社交のための音楽を指す。弦楽四重奏のために書かれたこの作品は活気に満ちた第1楽章、優美な旋律が印象的な第2楽章、軽快で駆け抜けるように演奏される第3楽章からなり、若々しさ溢れる作品である。

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467

創作意欲が盛んな29歳の頃に作曲されたこの作品は、「明るく優美で華麗」な楽曲である。全3楽章からなり、行進曲風に始まる第1楽章、美しく幸福感に溢れ天上の音楽ともいえる旋律美をもつ第2楽章、明るく快活な第3楽章で構成される。

モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調 K.551『ジュピター』

この作品は32歳の頃に作曲された最後の交響曲であり、堂々とした風格の第1楽章、歌に溢れた第2楽章、半音階を用いた優雅なメヌエットの第3楽章、そして5つの異なる主題が組み合わさる豪華で華麗な第4楽章で構成され、最高傑作のひとつである。

■ ベーゼンドルファー280

ベーゼンドルファーはウィーンの貴婦人と表され音色は「至福の音色ウィンナートーン ウィーンの音色」と呼ばれています。豊かな倍音を含む、歌うような響きを求め、一つ一つの音を如何にして美しく、長持ちさせるかという音の奥行きを追求しており、ボディー全体を共鳴箱としているため、柔らかく美しいハーモニーの中に1音1音をはっきりと聞き取れる独特な響きを持っています。これらは、管楽器、弦楽器や声楽、合唱などのアンサンブルにも良く調和することを示しており、ベーゼンドルファーはピアノの持つ「独奏楽器」の特性と共に、「合奏楽器」としても非常に優れた特性を持ったピアノなのです。

[OWNER'S MANUALより]



問合せ

八女市民会館 おりなす八女

TEL:0943-22-5332 〒834-0031福岡県八女市本町602-1

(受付) 9:00~18:00(※祝日除く月曜休館)



おりなす八女HP